

言葉を学ぼう 文化を学ぼう

2019年度



楽習会

がくしゅうかい

◆ 岐阜大学の先生が講師を務める公開講座 ◆

【開講時間】 14:00～15:30（開場13:30）

【会場】 岐阜県図書館 2階 研修室

【定員】 定員60名 予約不要



第1回	6月16日(日)	映画のセリフを通して見る日英語の「語」の仕組み 飯田 泰弘 助教
第2回	8月18日(日)	アルプスの谷と飛騨の谷の小言語 山田 敏弘 教授
第3回	9月23日(月・祝)	作文の中の「柳ヶ瀬」 小林 一貴 准教授
第4回	10月20日(日)	文学でニューヨークを旅する 林 日佳理 助教
第5回	11月17日(日)	孟浩然の山水詩 好川 聰 准教授
第6回	12月22日(日)	基礎英単語の小ネタ集：英単語の社会文化的意味 仲 潔 准教授
第7回	1月19日(日)	『源氏物語』と小説家たち 小川 陽子 准教授

問い合わせ先

岐阜県図書館 企画課企画振興係
〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1
電話 058-275-5111 FAX 058-275-5115
e-mail library@library.pref.gifu.jp

岐阜県図書館

検索



2019年度 楽習会の内容

	6月16日(日) 映画のセリフを通して見る日英語の「語」の仕組み：飯田 泰弘 助教
第1回	各言語には、語・句・文といった複数のレベルがあります。今回は「語」の世界に光を当て、新語の誕生秘話紹介や日英語の比較を通して、広くことばの仕組みを考えます。また実例提示として、映画のセリフに登場する興味深い英語も多数ご紹介します。
	8月18日(日) アルプスの谷と飛騨の谷の小言語：山田 敏弘 教授
第2回	今回は、イタリアとスイスの谷で話される小さな言語について、実地調査をもとにお話しします。特に、小さな言語を守ろうとする地域の取り組みと学校での教育は、日本の諸方言を守っていく上でも、たいへん参考になります。小言語を保持することで可能になる思考の多様性についても考えます。
	9月23日(月・祝) 作文の中の「柳ヶ瀬」：小林 一貴 准教授
第3回	文集・雑誌に掲載された作文の中から、「柳ヶ瀬」を描いた作品を取り上げます。変化し続ける柳ヶ瀬の街は、歌謡曲や映画、キャラクターなどのメディアを通して変化してきた街でもあります。「作文」というメディアを通して描かれた柳ヶ瀬の街を読み解いていきます。
	10月20日(日) 文学でニューヨークを旅する：林 日佳理 助教
第4回	今も昔も人をひきつけてやまない都市ニューヨークでは、さまざまな境遇の人々が出会い多彩な物語が生まれます。ニューヨークを舞台にした小説をいくつか見ていくことで、この街の魅力を味わいつつ、文学を通して異国を旅する楽しさを感じてもらえればと思います。
	11月17日(日) 孟浩然の山水詩：好川 聰 准教授
第5回	盛唐時代を代表する詩人孟浩然は、誰もが学校で習った「春眠 暁を覚えず」（「春曉」）の詩で現代でも親しまれています。今回は孟浩然が得意とした山水詩を取り上げ、彼の描く自然の世界を味わってみたいと思います。
	12月22日(日) 基礎英単語の小ネタ集・英単語の社会文化的意味：仲 潔 准教授
第6回	英語を少しでも学んだことがあれば1度は聞いたことのある英単語や、日本語になった英語・英語になった日本語をとりあげます。英語を楽しく学び直すきっかけになるかも?!
	1月19日(日) 『源氏物語』と小説家たち：小川 陽子 准教授
第7回	小説家・角田光代さんによる『源氏物語』の現代語訳が11月に完結を迎えます。『源氏』はこれまでにも与謝野晶子、谷崎潤一郎、円地文子などさまざまな小説家によって訳されてきました。『源氏』に対する彼女らの発言を紹介しながら、いくつかの訳を読み比べます。

交通案内

- JR西岐阜駅より徒歩14分
- 西ぎふ・くるくるバス（大人100円/小学生50円）
JR西岐阜駅南口より乗車（約5分）「県図書館・美術館」下車すぐ
- 岐阜バス（有料）鏡島市橋線 市橋行
JR岐阜駅（6番乗場）/名鉄岐阜駅（1番乗場）より乗車（約15分）
「県美術館」下車徒歩3分

